# ~ほけんだより10月号~

令和6年10月1日 長野こども学園

今年の夏は記録的猛暑でしたが、10月に入りようやく暑さが和らぎ、秋晴れの空の下、子ども達は元気に体を動かして遊んで います。また、今月は運動会があり、子ども達が一生懸命に運動会の練習をしています。その姿を見てとても成長を感じています。

これからの季節は、気温差があり乾燥しやすいので、風邪やインフルエンザに加え、ウイルス性胃腸炎が多くみられます。特にロ タウイルスやノロウイルス、アデノウイルスなどは感染力が強く、子どもや高齢者では重症化しやすいため注意が必要です。これら のウイルスにはアルコールは無効です。そこで園内での感染拡大防止の為、嘔吐や下痢で汚染した衣類・寝具は、洗い流さずに そのままビニール袋に入れて返却させていただいております。ご理解ご協力いただきますようお願いいたします。

# 意外に多い子どもの便秘 お子さんは大丈夫ですか?

子どもの便秘は意外と多いものです。便秘が続くと、うんちをするときに おしりが痛んだり、肛門が切れて血がついたり、おなかが苦しくなったりする ため、排便することをいやがって、ますます便秘がひどくなってしまいます。 食事や生活リズムを見直して、快便生活を目指しましょう。

- うんちの間隔が3日以上あく
- うんちが出ているのに、 おなかがパンパン
- かたいコロコロしたうんちが ちょっとずつ出る
- うんちのときに泣く
- ●ものすごく息んで苦しそう
- うんちをいやがる



ば便秘ではないと考えがち ですが、「うんちが出ていて も体内に残る量が多い」「う んちのたびに痛みや苦しさ が強い」なども、便秘の症 状です。うんちをするとき のお子さんの様子もチェッ クしましょう。

大人はうんちが出ていれ

# ........... それ、便秘のサインかもしれません! ..........

生活習慣を見直して 便秘を解消しましょう!

腸の運動は生活リズムの影響を受けやすいので、まずは生活 リズムを整えましょう。それでも効果が十分に出ないときは、 かかりつけ医に相談を。

# 食べる

寝る ●睡眠時間を決めて、 トイレに行く

10分間座ってみる

●朝、トイレに

●野菜をたくさんとって バランスよく食べる

● 食事の時間を守る

食事の時間を決めると、生活リ ズムが整いやすくなります。また。 食べたものが便になるまでの時間 が一定になるため、排便リズムが

たっぷり寝る



たくさん寒て 陽の調子を 教えましょう。

毎日決まった時間にトイレに行く習 慣をつけましょう。 子ども用の便座や トイレに座ったときに足が浮かないた めの踏み台を用意するのも大事です。

# おう吐で汚れた服を消毒するときは……

園では、嘔吐時すぐに対応できるように,各部屋にバケツ内(嘔吐物セット)を設置して います。①使い捨て手袋とマスク、エプロン ②ペーパータオル ③ハイター

④新聞紙 ⑤ゴミ袋 ⑥ティッシュペーパー

# 🚺 手袋とマスクをつける

素手で触れないよう、ゴム手袋や使い捨てのビ ニール手袋をつけましょう。また、使い捨てマスク をつけておくと安心です。

# 換気しながら開封する

吐いたものにウイルスが含まれていることがあり ます。乾燥したウイルスが体内に入ると、感染する ことがあるため、必ず換気ができる場所で袋を開け

# 🔞 汚れを取り除く

服についた汚れをペー パータオルなどでふき取 ります。取り除いた汚れ にはウイルスが含まれて いるおそれがあるので、 汚れをふき取ったペー パータオルはポリ袋を二 重に密封して捨てましょ





塩素系消毒薬を、0.1% の濃度に薄めます。製品 に記載されている希釈方 法を守りましょう。



消毒薬原液 ペットボトルの

キャップ4杯

塩素系消毒薬は、衣 類につくと色落ちしま す。色落ちさせたくな い場合は、85度以上の 熱湯に1分間つける方 法もあります。

(製品濃度6%の場合)

# 消毒液にしっかり浸す



消毒液が行き渡 るよう衣類を広 げ、しっかり消毒 液に浸します。

### 6 ほかのものと分けて洗濯する

消毒が終わったら、ほかの衣類と分けて洗濯します。

# 7)手などをよく洗う

処理に使った使い捨て手袋やマスクはポリ袋に密封 して捨て、最後に手を流水とせっけんでよく洗いましょ

# ンフルエンザの 予防接種が始まりました

# 2回の接種が必要

小さな子どもは免疫がつきにくいため、2回の接種が必 要です。効果を十分に上げるためには、1回目の接種と2回目の接種の間は4週間あけるとよいと言われています。

### 効果が十分に出るのは2回目接種から 約2週間

乳幼児は有効な免疫ができるのに2回目接種から2週間

### 効果は約5か月間持続する

インフルエンザの予防接種の効果は、約5か月。10月か ら接種すれば、流行の始まりからしっかりカバーできます。

